

# しんかんせんのせきぎめをしよう

単 元	倍数・約数	対象学年	全学年
ね ら い	これまでの算数で学んだことは生活の中で活かされていることを知り学ぶ意欲を高め、倍数・約数の活用場面を知ることができるようにする。		

## 1 準備するもの

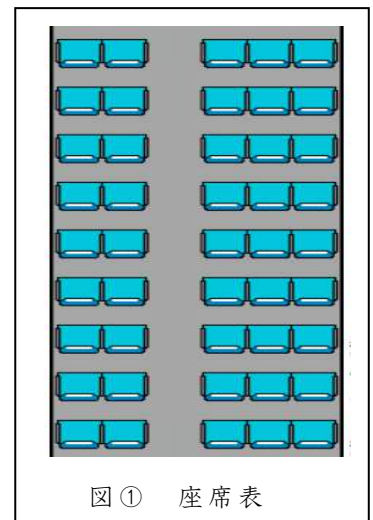
教師：座席表を拡大したもの、マグネット、ワークシート、教材提示機

## 2 学習のしかた

(1) 図①の新幹線の座席表を見て、座り方を考える。

座り方を考える際の2つのきまり

- ① 1人ぼっちの子がでないように座る。(通路を挟んで隣がいても、それは1人ぼっちになっているとする。)
- ② 前から順に座る。(ただし、2列席と3列席の使う数は異なってよい。)

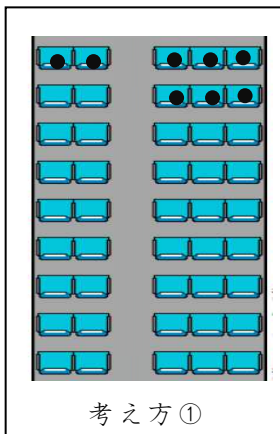


図① 座席表

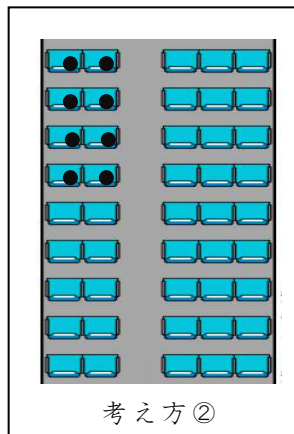
(2) 【問題】

「8人座ります。1人ぼっちの子がでないようにきまりを守って座れますか。」

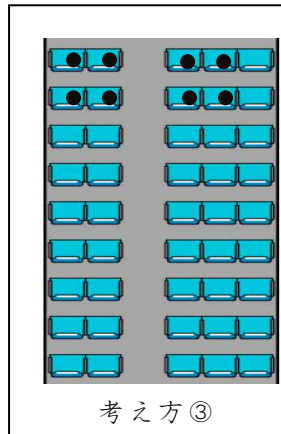
男女分けなくて考える。すると、座り方が3～4通りぐらい出るので確認する。



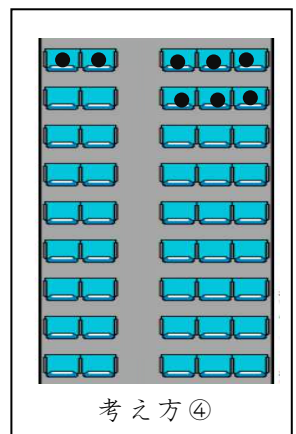
考え方①



考え方②



考え方③



考え方④

(3) 【問題】

「13人座ります。1人ぼっちの子がでないようにきまりを守って座れますか。また、17人座る場合はどうですか。」

合計人数が13人や17人など素数の数でもきまりを守って座れるかをワークシートに記入し個人追究する。図に○や矢印を書いたり、言葉や式を使ったり、様々な方法で考え方を表していく。隣の席の子が見ただけで考え方が分かるような書き方が良い。

(4) 全体で考え方を説明し合う。素数の数でも 1 人ぼっちにならず座れることを確認する。

13 人の場合  
考え方①

13 人の場合  
考え方②

17 人の場合  
考え方①

17 人の場合  
考え方②

(5) 最後に、自分の好きな人数にしても座れるかどうか考える。そして、どんな人数でも必ずだれも 1 人ぼっちにならないことを理解する。

### 3 学習上の留意点

- ・学年に応じて問題の人数の増減を変えていく。
- ・考えを説明する際は教材提示機で図を表し、視覚的にも考え方が理解できるようにする。

### 4 学習の効果

- ・これまでのかけ算の学習を身近な生活の場に生かすことができる。
- ・生活に関わる問題なので、楽しんで学習することができる。

### 5 参考資料

**新幹線の座席の座り方を考えよう**

※ 座席の配置は、2列と3列の並びです。

※ 座席の配置は、2列と3列の並びです。

① 男子 12 人、女子 13 人

② 男子 12 人、女子 13 人

③ 男子 12 人、女子 13 人

考え方①

考え方②

考え方③